



8年ぶりの現地訪問で友好を深めた

韓国・高敞郡を代表団が表敬訪問

4月19日から23日にかけて、当町と友好交流協定を締結している韓国高敞（コチャン）郡を、教育長・議長をはじめとする代表団6名が表敬訪問しました。

今年3月には、高敞郡の代表団が当町を訪れていたこともあり、5日間の交流は終始和やかな雰囲気。20日には「第21回青麦畑まつり」で教育長が祝辞を述べたほか、干潟センターや湿地などの高敞郡が所有する施設を見学しました。最終日には郡守（長官）・議長らと今後の交流について意見交換を行い、友好を深めました。



得点を挙げ盛り上がる仁井田米コメッツのメンバー

仁井田米コメッツ 四国準優勝！

四国各県の予選大会を勝ち上がったチームで開催される「第38回四国小学生男子ソフトボール大会」が、4月20日から21日の2日間、徳島市で開催されました。

高知県からは4チームが参加し、その内、町内で活動する仁井田米コメッツは、2回戦で愛媛県代表チームを破って勢いづく、続く準決勝も勝ち上がり、決勝戦へ進出。接戦の末、香川県代表チームに1-3で惜敗したものの見事準優勝を飾りました。

高知県ソフトボール協会の関係者も、高知県勢として準優勝したのは、過去にも記憶がないという快挙となりました。



約500匹のこいのぼりの下で開催された

第21回よってこい四万十が開催

十川地区のこいのぼり公園で5月3日、第21回「よってこい四万十」が盛大に開催されました。

ゴールデンウィーク恒例イベントの「よってこい四万十」。当日は天候にも恵まれ、町内のみならず、中四国や関西方面からの観光客も多く、大いににぎわっていました。会場には、特別に設置された釣り堀（あめご釣り）や、ふわふわ遊具（エアートランポリン）、移動動物園などのアトラクションも多く登場したほか、出店やキッチンカーでの食事も提供され、来場者は上空を優雅に舞う約500匹のこいのぼりを仰ぎ見ながらイベントを楽しんでいました。



スイーツや総菜の販売でにぎわった

道の駅四万十大正ふるさと市開催

道の駅四万十大正で、4月29日、「ふるさと市」が開催されました。このイベントは、観光客や帰省客の皆さまに、道の駅四万十大正周辺の豊かな自然を、地域の方々と触れ合いながら楽しむひとときにしてみようという毎年開催しています。

当日はあいにくの天候となりましたが、地域の方々が手作りのスイーツや総菜、地酒、木工体験などのお店が並んだほか、地元中学生・高校生合同によるジャズ演奏やとどろき太鼓保存会による和太鼓の演奏などもあり、立ち寄った観光客も満足そうに、雰囲気を楽しんでいました。



被災地へ派遣された職員



全国から派遣された自治体職員が心を一つに

町職員4名を被災地輪島市へ派遣

令和6年1月1日に発生した能登半島地震で、甚大な被害を受けた石川県輪島市へ、当町の職員4名を派遣しました。これは、総務省からの応援要請に基づくもので、高知県をはじめ、東京都、大阪府、福岡県など1都1府12県が、輪島市に対して災害派遣を実施したものです。

派遣職員は、3月中旬から4月中旬にかけ、10日間の日程で交代で被災地に派遣され、被災地支援の最前基地となった日本航空学園の敷地内にテントを張り、寝袋で睡眠をとりながら、支援活動を実施しました。

実際の被災状況を肌で感じ、直接、被災者との対応を通して、生の緊迫した現場を学べたことは当町にとっても非常に大きな財産となります。

派遣職員が目の当たりにした事実や感じた不安、その恐ろしさを、今後は全職員に共有するとともに、地域の自主防災組織を通して皆さまにも共有することで、一人一人の防災意識をさらに高め、当町の防災対策がより一層強固なものとなるよう努めていきます。

派遣職員	所属	派遣業務
有田 佳弘	税務課	罹災証明発行業務
今井千津子	危機管理課	住家被害認定調査業務
谷 雅仁	危機管理課	住家被害認定調査業務
田井 翼	農林水産課	住家被害認定調査業務



高幡5市町と佐川急便による協定締結式

災害時の物資輸送支援協定を締結

災害時の物資輸送について、高幡5市町（須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）と佐川急便による協定締結式が、4月10日、須崎市役所で行われました。

この協定は、大規模災害時に自治体のみでは、支援物資の受入や配送が困難になることを想定し、民間事業者と連携することで、避難所への物資配送や物資集積所での積み下ろし作業などを容易とし、被災者の生活をより安定させることを目的としています。今後は協定市町とも連携し、南海トラフ地震を想定したより実効性のある協定内容となるよう、連携強化に努めていきます。

㈱大塚商会へ感謝状を贈呈

株式会社大塚商会（本社／東京都千代田区）と高知・愛媛両県の12市町村は、令和5年度に「災害時における相互応援及び支援協力に関する連携協定」を締結しています。

この度、当協定に基づき、㈱大塚商会より企業版ふるさと納税制度を活用した防災資機材の物納寄附をいただいたことから、4月15日、四万十市にて高知県内の7市町村より感謝状の贈呈を行いました。贈呈式終了後の寄贈品のお披露目会では、水循環型シャワーキットや電子ボードなどの実演も行われ、参加関係者は日頃の備えや連携体制について再確認をしました。



防災資機材の寄贈に対して感謝状を贈呈
株式会社 大塚商会 取締役 兼 専務執行役員 齋藤 廣伸